

1

随意契約理由書

1. 委託名称

大阪市準公営企業財務会計システムサーバOS更新作業業務委託

2. 契約の相手方

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ関西

3. 随意契約理由

当局並びに中央卸売市場・港湾局においては、効率的な準公営企業会計の財務処理と財務諸表の整理・作成を行うことを目的として、準公営企業財務会計システム（以下、「システム」という。）を平成24年4月から運用し、令和2年3月末まで保守業務を上記業者が行っているところである。

本業務は、今年度1月14日に本システムに導入されているサーバOSがサポート期限を迎えるにあたり、各機能を適切に維持するとともに、安定かつ円滑な運用及び稼働環境を保持するため、サーバOS、及びミドルウェアのバージョンアップを完了し、脆弱性対応を継続して実施していくため行うものである。

本システムは、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ関西が保有するパッケージソフトを基に、機器類・システム構成・操作性の標準化を図り、設計・プログラミング・運用テストを繰り返し行い、開発した情報システムであることから、同社保有の技術によってシステムとしての性能を維持継続させなければならない、他業者では本業務を実施することができない。

以上のことから、上記業者に随意契約するものである。

4. 根拠法令

地方自治法施行令 167 条の 2 第 1 項第 2 号

5. 担当部署

総務部経理課（下水計理担当）